

■ とともに学んでふれあうまち渋川

(渋川学区まちづくり協議会 子ども育成部会)

1 【活動の趣旨】

「いいなあ、いいなあ、とともに学んでふれあうまち渋川」を合言葉に、学校と家庭と地域が関わり合いながら、大人と子どもが世代を超えて、ともに協力し合い、ともに学び、ともに喜びを分かち合えるまちづくりを目指し地域協働をすすめる。

2 【特徴的な活動内容】

○ 「じゃがいも収穫体験」

前年度の2月に子どもたちが地域の方と一緒に小学校の畑に植えたじゃがいもを、子どもと大人が密を避けながら協働して収穫した。

《概要》日時：令和2年6月20日（土）

9時30分から15時30分

参加：小学生 98人、大人 23人

(役員・地域の有志の方)



【じゃがいも収穫体験】

3 【実施に当たっての工夫】

「じゃがいも収穫体験」は、コロナ禍における初めての事業であったため、参加者を小学校の児童に限定しての縮小開催とした。まず、受付で検温と手指の消毒を実施した。分散登校に合わせ町内会ごとの4班に分け、参加時間を完全入替え制とした。4つの畝を16等分して掘る場所に印をつけ、参加者をななめに配置して密を避け収穫した。例年なら採れたてのじゃがいもを茹でてみんなで食べる場所を、取りやめて持ち帰り用の袋を配布し、それぞれが持ち帰り家で食してもらった。

4 【事業の成果】

「じゃがいも収穫体験」では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のためイベントがほとんど中止になってしまった子どもたちが久しぶりに自然と親しみ、自分たちが植え育てて収穫したものを持ち帰り食すなど、充実感を味わうことができた。芽かき・土寄せなどを体験することにより食べ物の大切さを地域の子どもの大人も学ぶことができた。開催できたことで、皆で自然の恵みに感謝できた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

コロナ禍で感染拡大防止策を取りながら、みんなで炊き出しをして食事をしたり、参加者をたくさん集めて開催することが難しくなった。

皆が安心して参加できる事業を更に工夫を凝らし中止せず開催できる方法を模索していきたい。



【受付で検温して消毒をする】

【掘る場所はシートを剥がす】

【距離を十分とって開催】